

2025年3月期第2四半期 決算説明会

2024年11月20日

TDCソフト株式会社



アジェンダ

- 1 2025年3月期第2四半期 決算概況(連結)
- 2 2025年3月期第2四半期 主要施策の状況
- 3 2025年3月期 見通しについて

代表取締役社長 小林 裕嘉

- 4 2025年3月期第2四半期 決算内容
取締役執行役員 コーポレート分野担当 大垣 剛



1

2025年3月期第2四半期 決算概況(連結)



2025年3月期第2四半期 決算概況(連結)

(単位:百万円)	2025年3月期 第2四半期	利益率	前年同期比	2024年3月期 第2四半期
売上高	21,349	-	13.2%	18,856
売上総利益	4,579	21.4%	13.3%	4,041
営業利益	2,401	11.2%	29.2%	1,858
経常利益	2,442	11.4%	26.5%	1,930
親会社株主に帰属する 中間純利益	1,652	7.7%	26.1%	1,310

【ハイライト】

- 各事業分野は堅調に推移し、計画を上回り增收
- 利益面について、将来の事業拡大に向けた投資を積極的に推進するものの、昨年度実施した本社移転コストがはずれたことや增收効果によって、営業利益は増益



分野別ハイライト

ITコンサルティング&サービス分野



クラウドITサービスマネジメント関連のSaaSソリューション案件が堅調に推移

金融ITソリューション分野



銀行系のシステム開発案件等が好調に推移

公共法人ITソリューション分野



運輸業、自動車、旅行業向けの開発案件等が堅調に推移

プラットフォームソリューション分野



通信関連や官公庁向けのインフラ構築案件が堅調に推移



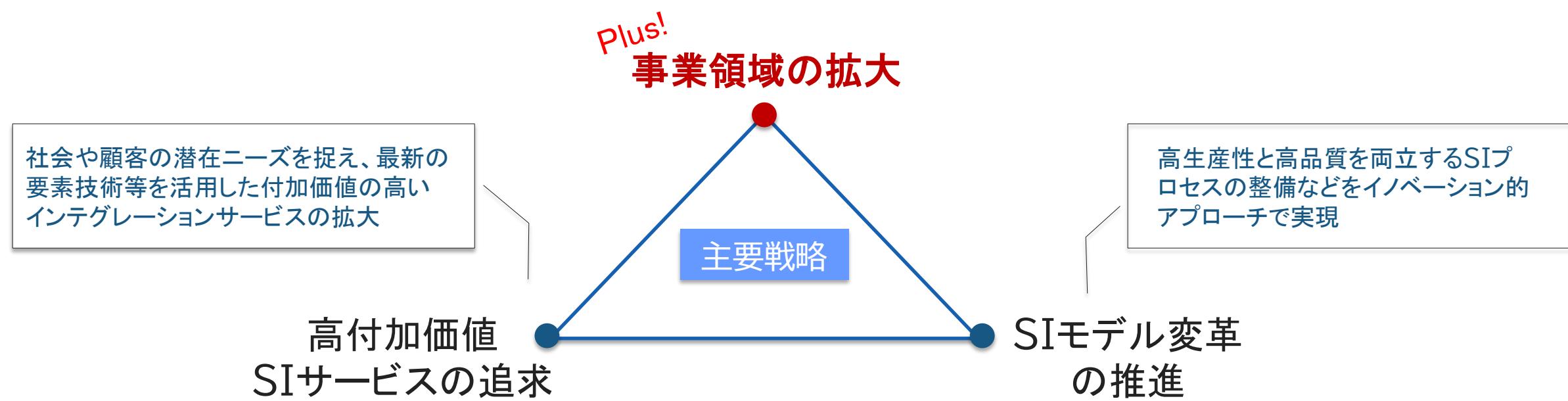
2

2025年3月期第2四半期 主要施策の状況



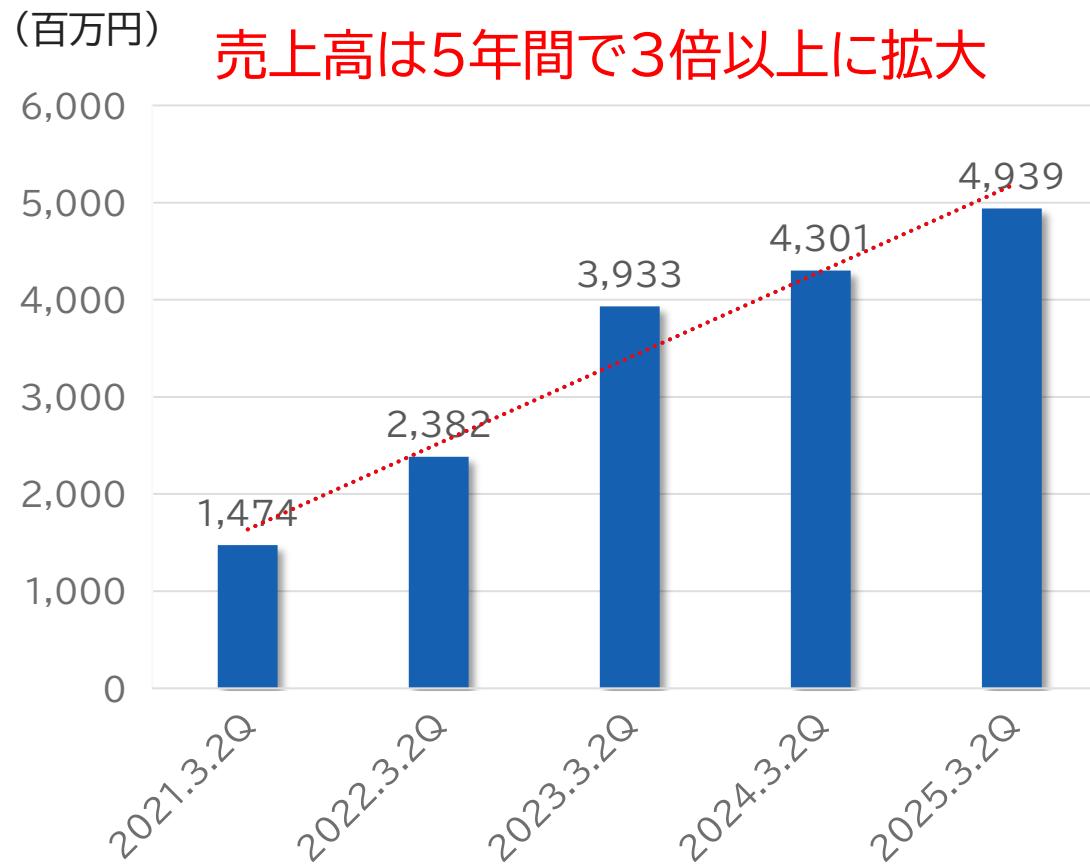
中期経営計画『 Shift to the Smart SI Plus 』

既存のSI事業領域を軸に新たな領域へ事業を拡大
新たなビジネスモデルに必要なケイパビリティを獲得し、
新たな次世代型SI企業を目指す





主要戦略①高付加価値SIサービスの追求



次世代型SI事業は順調に拡大

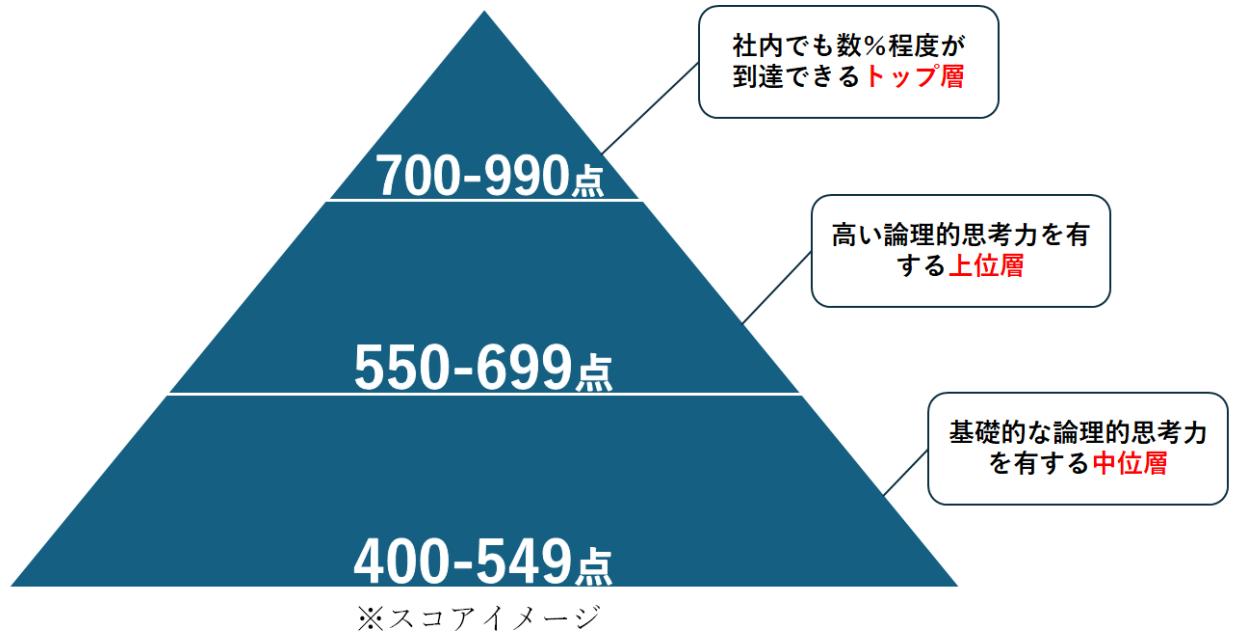
アジャイル開発やクラウド分野、マイグレーション案件等が牽引し、
売上高は5年間で3倍以上に拡大

次世代型SI事業
顧客の潜在ニーズを捉え、アジャイル、セキュリティ等の最新の要素技術等を活用し、高付加価値サービスの提供と時間や手間などを含めたユーザコストの低減を両立したインテグレーションサービス

主要戦略②SIモデル変革の推進

「アルゴリズム社内認定制度」を導入

社員一人ひとりのスキルアップを支援し、
お客様に最高のサービスを提供



「しつもんクラフト」のβ版をリリース

生成AIを活用し、潜在ニーズを引き出すための質問作成を支援。
UXデザインの質の向上と業務効率化に貢献



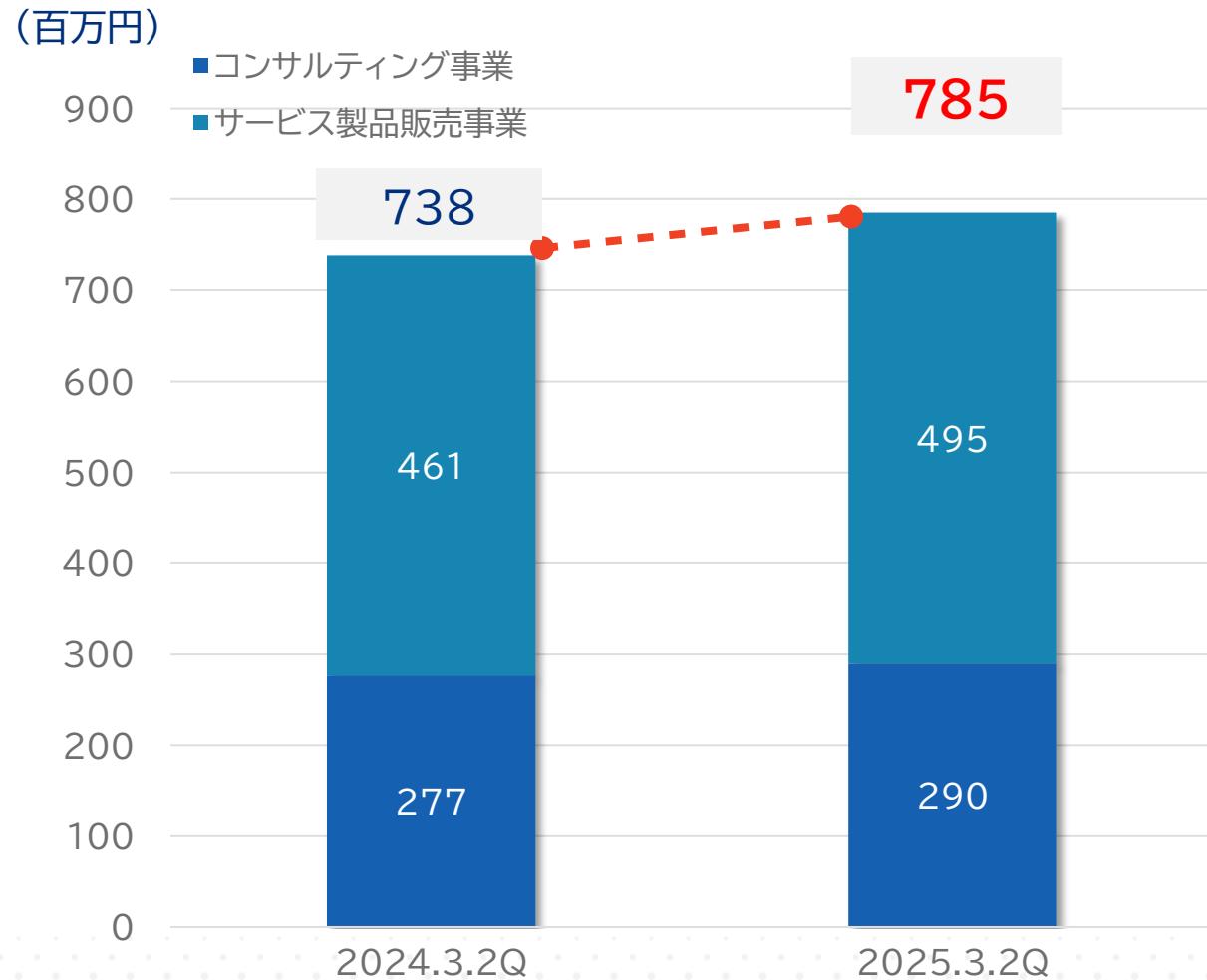
しつもんクラフト

ServiceNowオリジナル新テンプレート
「Snap ITSM」を提供開始





主要戦略③事業領域の拡大

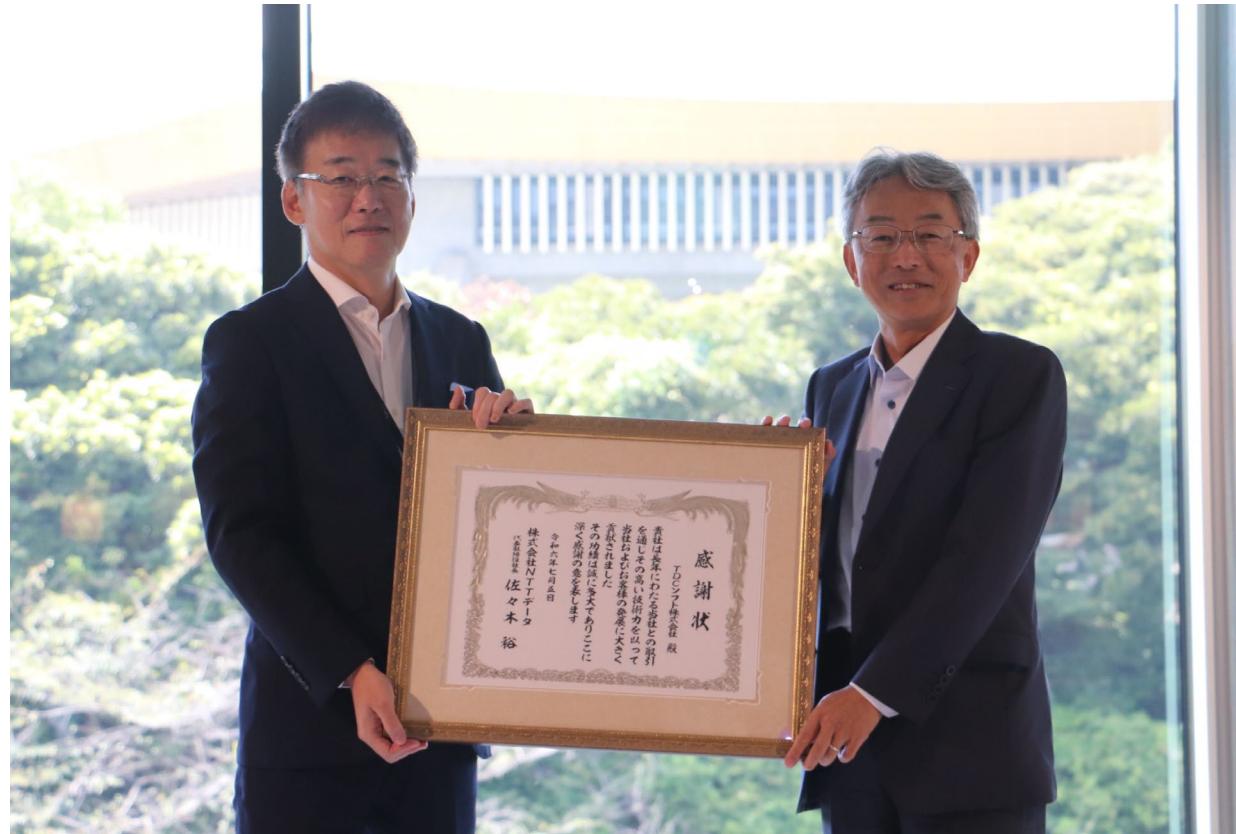


ケイパビリティを獲得し事業領域を拡大

コンサルティング事業、サービス製品販売事業は
前年同期比 14%増

アセット化や要員育成、マーケティング施策等が
功を奏し全体的に拡大基調

NTTデータ様の 「コアビジネスパートナー」に継続認定



NTTデータ佐々木社長より贈呈



3

2025年3月期の見通し



2025年3月期見通し(分野別)

ITコンサルティング&サービス分野

前期比 +11.3%



SaaS、iPaaS等のクラウド系ソリューションが堅調。収益性の高いプライム案件をさらに拡大

金融ITソリューション分野

前期比 +11.5%



好調なクラウド化やモダナイゼーション需要を背景に、銀行系分野を中心に拡大

公共法人ITソリューション分野

前期比 +11.9%



公共系の大規模案件や運輸系の需要が牽引。引き続き戦略パートナーとして顧客のIT企画から支援を行うビジネス拡大を図る

プラットフォームソリューション分野

前期比 +7.1%



継続するクラウドニーズにより事業は堅調に拡大見込み



2025年3月期 見通しについて

業績予想および配当予想

(単位:百万円)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	EPS(円)	配当予想(円)
通期	44,000 (+2.3%)	4,750 (+10.5%)	4,850 (+5.4%)	3,260 (+5.5%)	69.2	期末24 合計24

※ 2024年4月1日付で、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。
2025年3月期の配当予想については、株式分割後の数値を記載しております。

- 受注高、売上高は計画を上回り推移しており、中期経営計画の売上高目標を上回る440億円を見込む
- 利益面においては、各事業分野が堅調に推移する状況を受け、将来の事業拡大に向けた投資を積極的に追加拡大することを加味し、上記のとおり上方修正を発表

4

2025年3月期第2四半期 決算内容



●財務諸表

●売上高分析

●受注高・受注残高

●営業利益分析



財務諸表

損益計算書

(単位:百万円)	2025年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	増減率
売上高	21,349	18,856	13.2%
労務費	6,953	6,359	9.3%
外注費	9,319	8,084	15.3%
その他経費	666	502	32.7%
仕掛増減高	169	130	29.4%
売上原価	16,770	14,815	13.2%
売上総利益	4,579	4,041	13.3%
販売費及び一般管理費	2,177	2,182	△ 0.2%
営業利益	2,401	1,858	29.2%
営業外収支	40	71	△ 43.1%
経常利益	2,442	1,930	26.5%
税引前当期利益	2,442	1,930	26.5%
中間純利益	1,652	1,310	26.1%
EPS	35.06円	27.49円	27.6%

貸借対照表

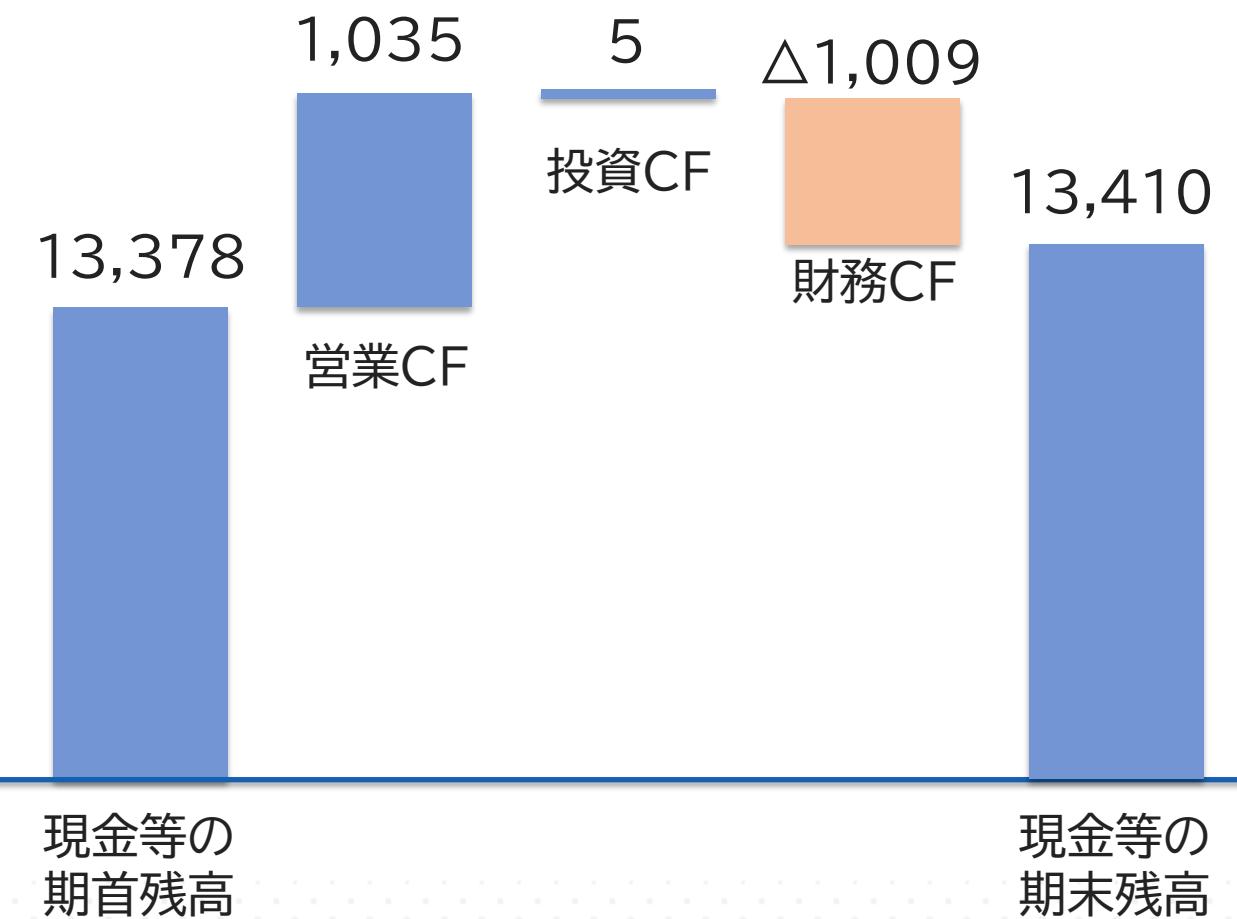
(単位:百万円)	2025年3月期 第2四半期末	2024年3月期	増減率
資産合計	25,467	25,505	-0.2%
流動資産	20,571	20,434	0.7%
固定資産	4,895	5,071	-3.5%
負債合計	6,597	7,028	-6.1%
流動負債	6,000	6,378	-5.9%
固定負債	597	649	-8.1%
純資産合計	18,869	18,477	2.1%
負債純資産合計	25,467	25,505	-0.2%
自己資本比率	74.1%	72.4%	2.3%
1株当たり純資産	400.30円	392.16円	2.1%

※ 2024年4月1日付で、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。
各指標は前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して算定しております。



財務諸表

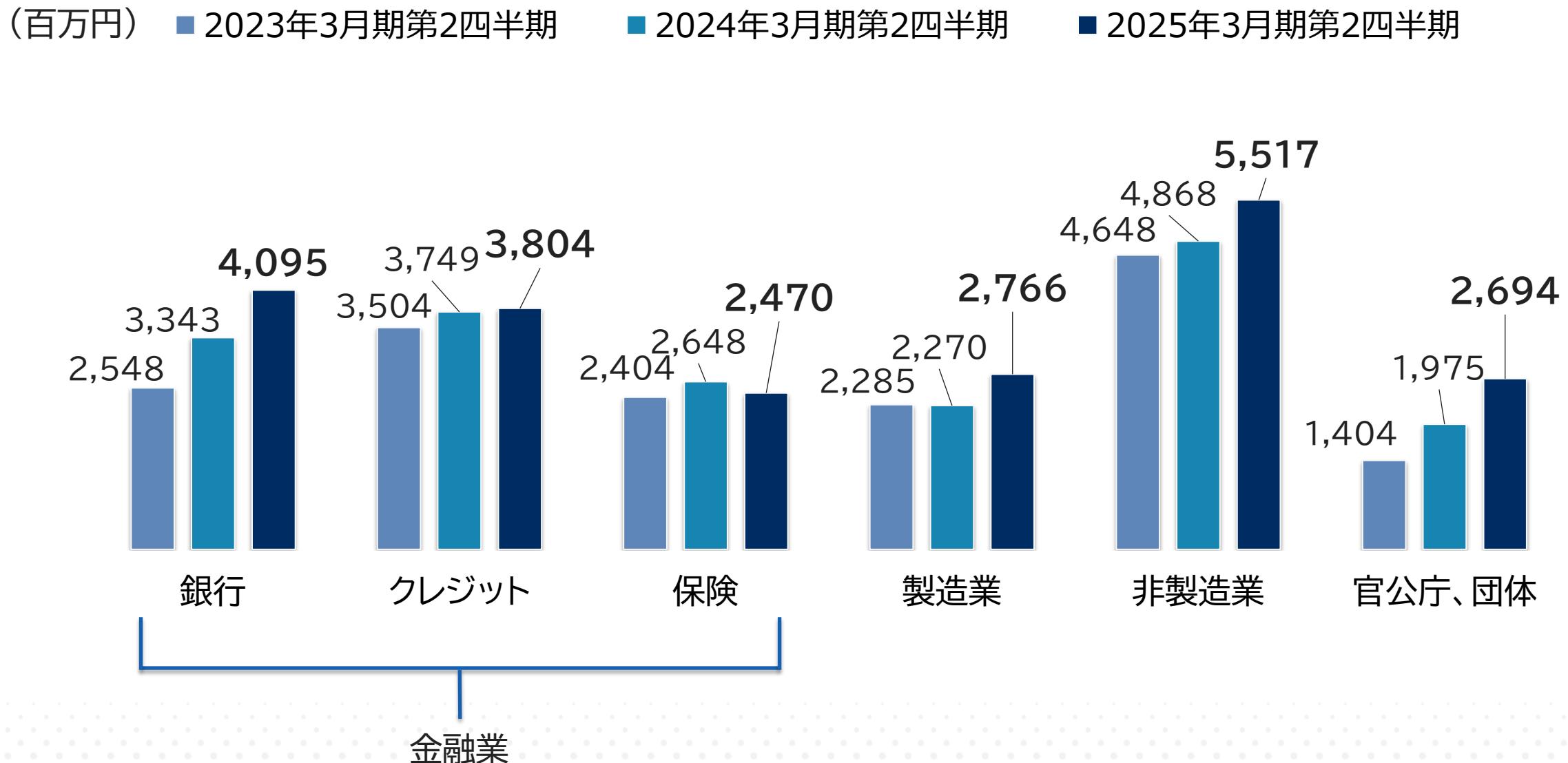
キャッシュフロー計算書



現金等の期首残高	13,378
税引等調整前中間純利益	2,442
未払金	△ 293
未払費用	△ 331
その他	△ 171
法人税等	△ 612
営業CF	1,035
無形固定資産の取得による支出	△ 16
投資有価証券の取得による支出	△ 15
利息及び配当金の受取額	42
その他	△ 6
投資CF	5
短期借入金の純増減額	147
配当金の支払額	△ 1,148
その他	△ 8
財務CF	△ 1,009
現金等の中間期末残高	13,410

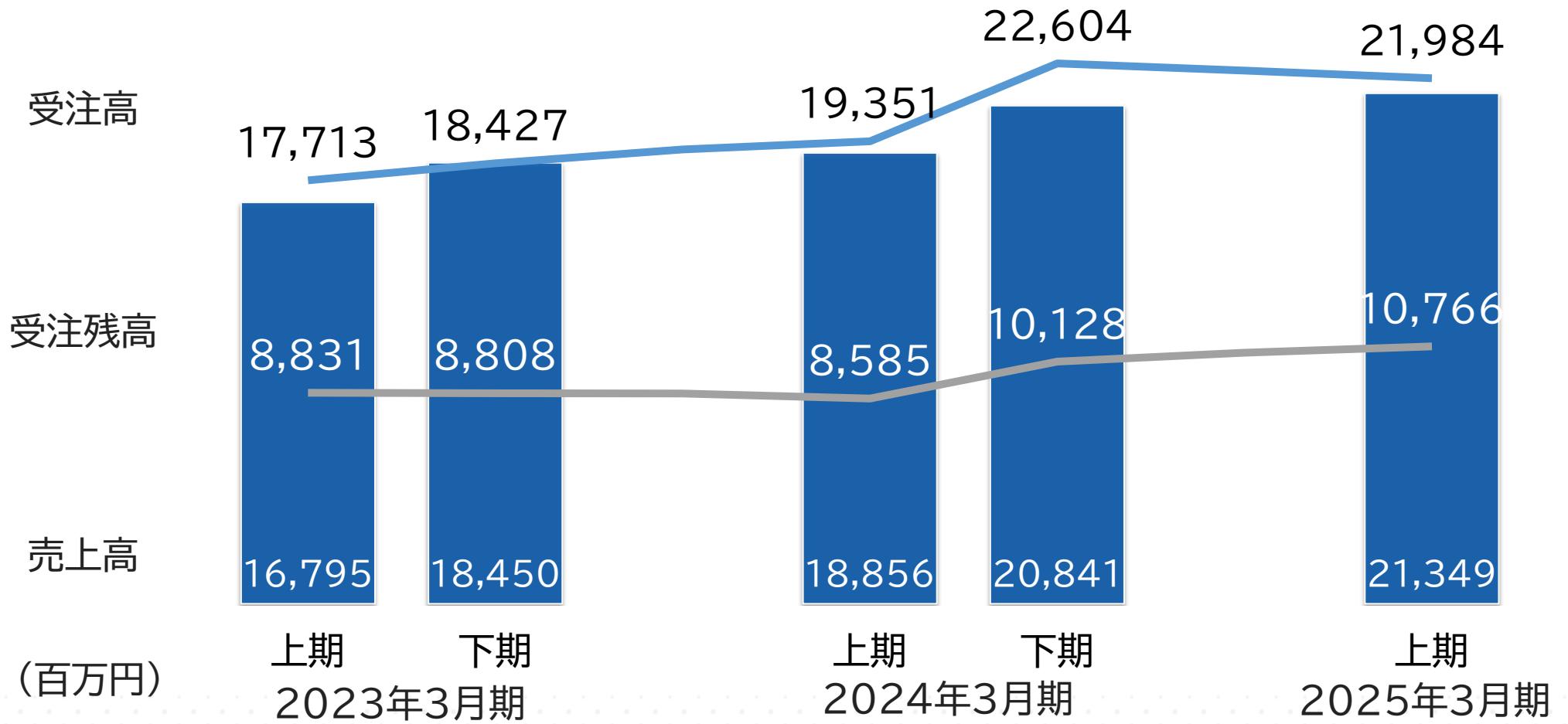


顧客業種別売上高概況





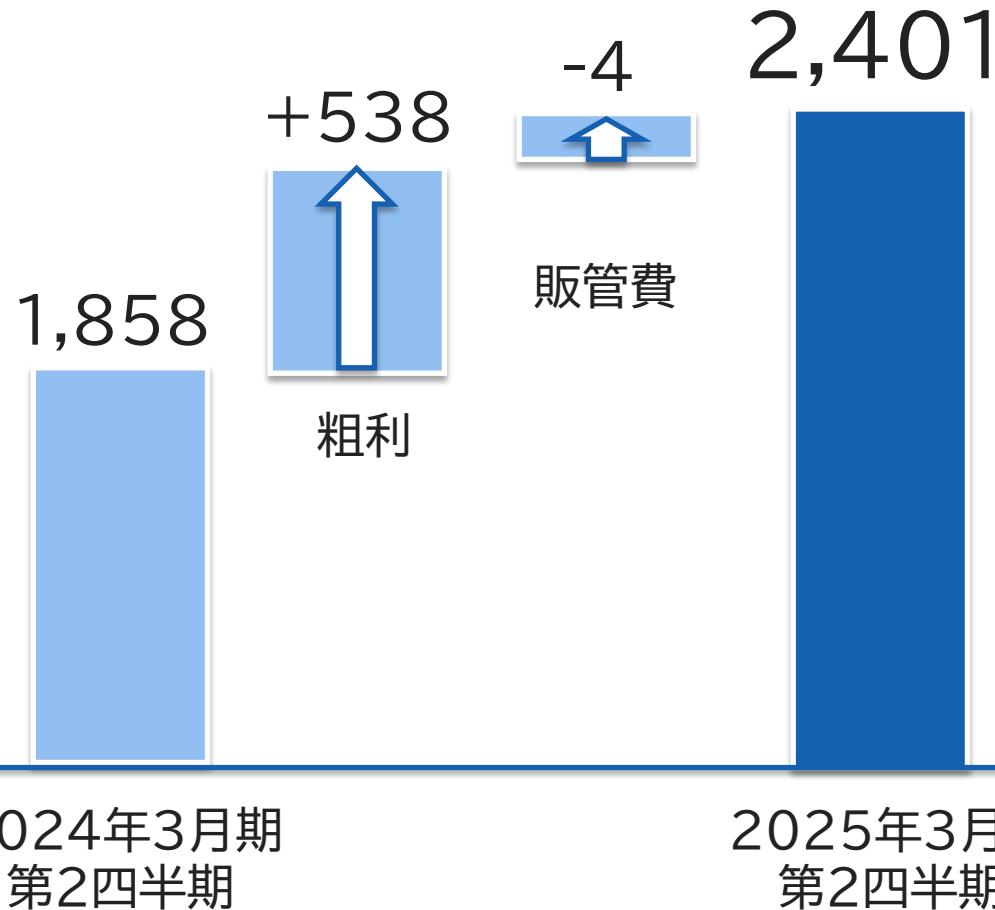
受注高・受注残高





営業利益分析

(百万円)



<粗利益>

+ 売上高の増加による利益向上

<販売管理費>

+ 新卒採用者数の拡大
+ 次世代型SI事業拡大に向けた新技術獲得
- 前期に実施した本社移転関連費用



<https://www.tdc.co.jp/>

※本資料についてのご注意:

本資料に記載されているTDCソフトグループの将来の予想に関する事項は、現時点における情報に基づき判断したものであり、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により変動することがあります。